



平成24年9月定例会

大館市議会会議録（第3号）

自 平成24年8月28日 開会
至 平成24年9月18日 閉会

大 館 市 議 会

8月28日（火曜日）

第1日目

平成24年 8 月28日（火曜日）

議事日程第 1 号

平成24年 8 月28日（火曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案等の上程

1. 報 第 17 号 専決処分 の 報告 について（和解及び損害賠償について）
2. 議案第 91 号 大館市立保育園設置条例の一部を改正する条例案
3. 議案第 92 号 大館市プルミエ比内に関する条例の一部を改正する条例案
4. 議案第 93 号 大館市軽食・直売コーナーに関する条例の一部を改正する条例案
5. 議案第 94 号 大館市火災予防条例の一部を改正する条例案
6. 議案第 95 号 大館市小規模水道施設等の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
7. 議案第 96 号 字の区域の変更について
8. 議案第 97 号 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
9. 議案第 98 号 市道路線の廃止について（髪垂橋通り線）
10. 議案第 99 号 市道路線の認定について（大田面10号線外 2 路線）
11. 議案第100号 平成24年度大館市一般会計補正予算（第 3 号）案
12. 議案第101号 平成24年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）案
13. 議案第102号 平成24年度大館市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）案
14. 議案第103号 平成24年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 1 号）案
15. 議案第104号 平成24年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第 1 号）案

16. 議案第105号 平成24年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案
 17. 議案第106号 平成24年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第1号）案
 18. 議案第107号 平成24年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案
 19. 議案第108号 平成24年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案
 20. 議案第109号 平成24年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案

出席議員（28名）

1番	小棚木 政之君	2番	武田 晋君
3番	佐藤 照雄君	4番	小畑 淳君
5番	花岡 有一君	6番	中村 弘美君
7番	畠 沢 一郎君	8番	伊藤 毅君
9番	藤原 明君	10番	千葉 倉男君
11番	佐藤 久勝君	12番	仲沢 誠也君
13番	虻川 久崇君	14番	石田 雅男君
15番	藤原 美佐保君	16番	斉藤 則幸君
17番	明石 宏康君	18番	佐藤 芳忠君
19番	吉原 正君	20番	佐々木 公司君
21番	佐藤 健一君	22番	田中 耕太郎君
23番	富樫 孝君	24番	田村 齊君
25番	菅 大輔君	26番	笹島 愛子君
27番	相馬 エミ子君	28番	高橋 松治君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市	長	小畑 元君
副 市	長	吉田 光明君
総 務 部	長	木村 勝広君
総 務 課	長	名村 伸一君
総 務 課 長 補 佐		阿部 稔君
財 政 課	長	北林 武彦君
市 民 部	長	大友 隆彦君
産 業 部	長	田畑 政光君
建 設 部	長	丸屋 義明君

比内総合支所長	羽賀一雄君
田代総合支所長	下山廣君
会計管理者	芳賀利彦君
病院事業管理者	佐々木睦男君
市立総合病院事務局長	明石和夫君
消防長	畠山亮一君
教育長	高橋善之君
教育次長	石井隆君
選挙管理委員会事務局長	戸田恒夫君
農業委員会事務局長	佐藤伸雄君
監査委員事務局長	田村喜美雄君

事務局職員出席者

事務局長	阿部徹君
次長	豊田耕司君
係長	笹谷能正君
主査	佐藤肇君
主査	長崎淳君
主査	若松健寿君

午前10時00分 開 会

- 議長（藤原美佐保君） これより、平成24年9月大館市議会定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。

-
- 議長（藤原美佐保君） 日程に入ります前に御報告申し上げます。

さきの6月議会定例会最終日、議案第79号 大館市図書館条例の一部を改正する条例案に対して、笹島議員が反対討論を行いました。後日、本人より、「能代市議会では指定管理条例案を否決した」という部分は事実誤認であり、実際は、原案どおり可決とされていたので、発言の訂正をしてほしい旨、書面で申し出があったことを御報告いたします。

なお、今回の場合は、閉会後の申し出であったことから、会議規則の規定により発言の訂正はできないということを申し添えます。

それでは、日程に入ります。

本日の議事は、日程第1号をもって進めます。

諸般の報告は、お手元に配付しております文書により御了承願います。

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（藤原美佐保君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、23番 富樫孝君、24番 田村齊君、25番 菅大輔君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

- 議長（藤原美佐保君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から9月18日までの22日間と定めたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（藤原美佐保君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日から22日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。

日程第3 議案等の上程

○議長（藤原美佐保君） 日程第3、議案等の上程を行います。

報第17号、及び議案第91号から同第109号までの以上20件を一括上程いたします。

提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

○市長（小畑 元君） 9月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、6月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、東日本大震災への対応状況等について。

8月24日現在の本市への避難者は14世帯38人となっており、6月定例会で御報告申し上げたときより3世帯6人減少しております。市では、この夏、被災地支援の一環として、秋田県が7月21日から9月2日まで実施する「ふくしま子どもリフレッシュ支援事業」により、これまでに1世帯4人の親子を受け入れたところであります。一方、東京電力への損害賠償請求につきましては、福島第一・第二原子力発電所の事故から生じた損害について、秋田県及び県内18市町並びに広域市町村圏組合など4事業組合とともに、7月11日に第1回目の請求をいたしました。請求額は、放射性物質の測定委託費、測定機器購入費、農産物検査事業への補助金等、合計103万4,775円であります。今回の請求では、県の方針に合わせ人件費等を含めておりませんが、精査の上、2回目以降に請求する予定としております。本市の防災体制整備としましては、8月20日に市を調整役として自衛隊・大館警察署・大館市消防本部で構成する大館市防災連絡協議会を設立いたしました。災害発生時の迅速な救援活動や復旧活動を目指したもので、9月2日の大館市防災訓練では、災害情報の収集・共有化訓練も実施する計画であります。

2、大館市本庁舎建設検討委員会の設置について。

市では、東日本大震災を踏まえ、本庁舎の今後のあり方を検討する委員会を設置し、8月21日に第1回の委員会を開催したところであります。委員会は、広く意見を反映できるよう、一般公募による3人、各種団体からの推薦による学識経験者3人、公共的団体等からの代表者5人、これに市職員2人を加えた合計13人で構成されております。今後、委員会は4、5回開催され、来年2月をめどに答申の予定であり、委員会の内容等につきましては、逐次、議会へ報告し御相談申し上げますので、よろしく御理解・御協力をお願いいたします。

3、平成23年度の市税等の収納状況と未収債権対策について。

一般市税は、現年度分の収納率が前年度を0.48ポイント上回る98.72%となり、収納額は前年度比1億1,723万円増の81億2,878万円で、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度より1,745万円減少し6億6,381万円となっております。また、国保税は、現年度分の収納率が前年度を上回り、滞納繰越分を合わせた未収残高は、2,007万円減少し6億3,935万円となっております。市税等の滞納対策については、休日納付・相談窓口を開設して効果を上げているほか、悪質な滞納者に対しては、給料・預貯金等の債権差し押さえを中心に滞納処分を行っており、県内における本市の現年度分収納率は、速報値で県内13市中、一般市税がトップ、国保税が3

番目となっております。一方、税外収入金の現年度分収納率も前年度を上回り、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度より2,582万円減少し3億762万円となっております。今後も市の債権全体について、きめ細かな納付指導を行い新規滞納の抑制を図るとともに、必要な場合は法的措置も含めた滞納処分を検討しながら、未収債権の整理に努めてまいります。

4、瓦れきの受け入れ検討の中止について。

瓦れきの受け入れについては、現地の中間処理施設が稼働したことを受け、燃焼試験に向けた準備を進めておりましたが、8月9日、秋田県から「環境省及び岩手県の決定に基づき、大館市には瓦れき受け入れを依頼しない」との通知があり、同日をもって受け入れの検討を中止いたしました。市では、瓦れきの処理が被災地の早期復興の最重要課題であると認識し、瓦れきの性状や分別の状況、放射性セシウムの濃度、異物混入の度合いを十分に調査・検証するなど市民の安全確保を最優先とした上で、一つ一つ必要な手順をしっかりと踏みながら、可能な限り迅速に対応してきたものであります。今後は、市としてどのような支援ができるかについて、議会に御相談申し上げながら対応してまいりたいと考えております。

5、大館市環境マネジメントシステムの登録更新について。

ISO14001規格に基づく本システムについて、去る7月18日から20日までの3日間にわたり、審査登録機関による3年に1度の国際認証登録の更新審査を受審いたしました。審査員からは、地域環境の承継を理念とする環境方針のもと、再生可能エネルギーである木質ペレットの活用や廃食用油の燃料化、コンポストセンターの運営により、幅広くバイオマスを活用していることやLED照明や太陽光発電システムの積極的な導入により省エネルギー化計画を推進するなど、本システムを施策全体に活用して地方公共団体として先進的な環境事業を展開している点について、高い評価をいただきました。その結果、8月20日に開かれた登録判定委員会において、ISO14001規格に「適合している」との判定をいただき、4回目となる国際認証の登録更新が決定したところであります。

6、大館市エコフェアの開催について。

リサイクルや省エネルギーなど環境に対する理解を深めていただくイベント、大館市エコフェアを7月14日、15日の両日、大館樹海ドームで開催し、2日間で約2万3,000人の御来場をいただきました。会場では、市内の環境関連企業を中心に11の企業や団体が製品の展示やカタログの配布で事業を紹介いたしました。また、ことしで6回目となる東北最大規模の「マンモスフリーマーケット」、間伐材でつくった木製のはがきを被災した岩手県大船渡市の小学1年生へ贈呈する「木はがきプロジェクト」、生活様式や住宅の構造に合わせた省エネを提案する「うちエコ診断」など、多くの家族連れでにぎわいました。今後もこうしたイベントを通じてリサイクルや省エネルギー情報を発信し、市民の環境意識の向上を図ってまいります。

7、農作物の生育状況等について。

7月の高温・少雨により河川の水量がかなり低下し、圃場は全体的に乾燥、水不足の状況で

したが、お盆前後の降雨によりほぼ解消されております。水稻については、葉いもち病の発生は例年並みですが、カメムシの発生が多いことから、コメ通信等を活用し、病害虫防除の徹底や気象変動に応じた湛水管理について注意を呼びかけております。出穂盛期は8月4日と平年より1日早く、穂揃い、登熟ともにおおむね良好で、草丈は短く、茎数は多く、葉色は平年並みとなっております。一方、平成23年度から本格実施となった農業者戸別所得補償制度につきましては、個人1,881件、法人13件、集落営農17件、合計1,911件の加入申請があり、主食用米の作付面積は3,196ヘクタールとなり、昨年より33ヘクタールの増となりました。次に、野菜についてであります。7月の干ばつ傾向により、各作物とも生育のおくれが見られ、全体的に数量減の傾向にあります。主な品目では、枝豆は平年より2日早い7月22日から出荷が始まり、品質はよいものの収量が少なめで価格は高めで推移しております。アスパラガスは、少雨の影響で品質の低下が見られ収量も少なめとなっております。果樹は、梨、リンゴともに、開花時期、開花量、結実率のいずれもほぼ平年並みの状況であります。

8、大館市クマ出没警戒対策室の設置について。

本年は、市内での熊の目撃情報が例年にない頻度で寄せられ、農作物や比内地鶏に被害が出ていることから、厳重な注意・警戒が必要として、去る7月23日、庁内に大館市クマ出没警戒対策室を設置いたしました。また、大館警察署及び大館市猟友会との連絡会議を開催し、3者が連携して警戒に当たり、必要に応じて駆除することを確認したところであります。8月20日現在の目撃情報は、例年の約2倍に当たる183件で、養蜂、家畜の飼料、比内地鶏、梨、リンゴ、スイカ、トウモロコシなどが被害に遭っていることから、捕獲用のおりを2基増設して7基とし、23件の捕獲申請により13頭を駆除しております。例年、これから降雪期まで熊の出没が多くなり、被害の増加が予想されることから、引き続き厳重な警戒に当たることとしております。

9、雇用情勢について。

来春の市内高校卒業予定者の就職動向についてであります。7月末現在、就職希望者274人のうち172人が県内就職を希望しております。市内企業の求人数は48事業所144人で、去年同期との比較では26事業所42人増と出足は好調であります。来春も就職率100%となるよう、地元企業への早期求人働きかけを行っているところであります。一方、6月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は0.67と、去年同期との比較では0.16ポイント上回っておりますが、景気の動向は依然不透明であり、継続的な雇用対策が求められております。緊急雇用創出臨時対策基金事業による雇用状況については、平成21年度から23年度までの3年間で196事業624人を雇用し、その約6割が次の雇用につながっているとの結果が出ており、次の就労までの短期雇用を確保するという意味では一定の成果が得られたものと思っております。本年度も当初予算で33事業121人の雇用を確保し、さらに、大館の魅力情報発信事業、特別支援教育支援員配置事業の拡充、通り再生ロードマップ作成事業など8事業を創出し26人の雇用を見込んでいます。

であり、本定例会に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

10、企業誘致の状況等について。

二井田地区の工業団地では、木村食品工業大館工場が受注量増加に対応するため、本年2月から同社敷地内で施工していた野菜パック工場の増設が完了し、6月15日から操業を開始しております。投資額は約4,100万円、新規雇用者数は12名で、市では同日付で工場等設置促進条例による指定工場としております。また、ニプロでは、人工肺関連装置の研究・開発のための第6工場を建設中であり、投資額は約35億円、10月の操業開始までに10名の新規雇用を見込んでおります。ニプロファーマでは、バイオ製剤棟・抗がん剤製造棟及び物流棟を建設中であり、投資額は合計で約80億円、8月から来年4月の操業開始までに25名、5年後には96名の新規雇用を見込んでおります。一方、東北センバ大館工場では、グループ企業の事業再編に伴う新たな製造拠点等として工場及び倉庫を建設中であり、投資額は約20億円、10月の操業開始時の新規雇用者数は7名、将来的には15名を見込んでおります。また、福山通運では、県北地域の配送業務を行うため配送センターを建設中であり、投資額は約2億5,000万円、来年2月の業務開始までに新規雇用者13名を見込んでおります。このほか、新館工業団地では、サンテックスが10月の生産センター操業開始に向けて準備中であり、また、菅谷地地区では、シムコが投資額約5億5,000万円で大館GGPセンターを建設し、10月の操業開始に向けて準備を進めております。さらに8月24日、秋田市に本社を有するトヨタL&F秋田が、県北全域への事業展開のため羽貫谷地工業団地に新たな用地を取得し、来年4月の業務開始に向け大館店を移転新築することとなりました。本年度は現時点で8企業10工場、合計約150億円の新規投資が見込まれており、その多くは本市に立地する企業が業績を伸ばすなどして新增設等をしていることが特徴で、これにより100人以上、また、将来的には200人以上の新規雇用が図られ、有効求人倍率や高校卒業者の就職率向上など、さきに述べた雇用環境の改善にも大きく寄与するものと期待しております。今後も既存企業への支援とあわせて、企業誘致をさらに推進するとともに、受け皿となる工業団地の拡張・整備や空き校舎など公共施設の活用にも取り組んでまいりますので、よろしく御理解・御協力をお願い申し上げます。

11、本場大館きりたんぽまつり in 大館樹海ドームについて。

10月13日、14日の両日開催される「本場大館きりたんぽまつり in 大館樹海ドーム」は、実行委員会により準備・PRが順調に進められております。市内向けのPRについてであります。広報おおだてへチラシを折り込んだほか、企業・関係団体等にもポスターやチラシを配布しております。また、中心市街地にある35の飲食店の御協力により、関連イベント「夜の大館巡り 店・酒・人」を開催し、きりたんぽまつりの周知と飲食店の活性化が同時に図られたものと思っております。一方、市外に対しましては、秋田市・青森市・八戸市・弘前市・盛岡市・仙台市にある旅行代理店44社を訪問し、ポスターとチラシを配布して大館ときりたんぽま

つりをPRしております。出店業者につきましては、市内のきりたんぼ専門店や飲食店など約70事業者が確定し、8月1日からは市内大型店などで前売り券の販売を開始したところであり、祭り当日は混雑が予想されることから、長根山運動公園と御成町二丁目交差点からシャトルバスを運行し、来場者の利便性を確保することとしております。

12、大館市観光大使の任命について。

本市の観光大使としましては、昨年7月1日付で、白神フーズ社長の根田哲雄氏、東京芸術大学准教授の中村政人氏、日経BP社ビズライフ局長の麓幸子氏、秋田犬保存会東京支部長の村松進氏の4氏を任命しておりますが、このたび、新たに、本市出身のシンガーソングライター、因幡晃氏を8月1日付で観光大使に任命いたしました。因幡氏には、10月13日、14日に開催される「本場大館きりたんぼまつり in 大館樹海ドーム」のステージイベントへの出演を契機に、大使に御就任いただくこととなりました。これまでの大使同様、本市のPR活動を展開していただくほか、定期的開催する懇談会での御提言を市の観光施策に反映させてまいりたいと考えております。

13、夏季イベントの開催について。

(1) 大館バラまつりについて。

春先の低温が心配されましたが、6月9日から16日間にわたって開催した大館バラまつりには、昨年を4,000人上回る約4万1,000人の来園がありました。恒例の大館ばら会によるコンテストを初め、バラの苗木や関連商品の販売、コーヒーショップなども来園者から御好評をいただきました。

(2) 大館大文字まつりについて。

8月16日に予定しておりました第45回大館大文字まつりは、降雨・強風の悪天候のため、大文字踊り・大文字焼き・花火大会など、昭和62年以来2度目の全部中止となりました。本市の夏の一大イベント中止を惜しむ声は多く、実行委員会では、花火打ち上げ許可や業者日程を調整し、最短となる1カ月後の9月16日に大文字焼きと花火大会を実施することといたしましたので、よろしく御支援・御協力をお願いいたします。

(3) 田代地域の夏季イベントについて。

8月18日、第47回大鮎の里ふるさとまつりでは、鮎の千匹焼きや盆踊りなど多彩なイベントが繰り広げられ、多くの市民でにぎわいました。また、半夏生田代岳清掃登山や米代川の川下り・全国鮎祭り大会など、いずれも地域の自然を生かしたイベントとして多くの方々に御参加いただいております。今後も継続してまいりたいと考えております。

14、学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の実施について。

市では、東日本大震災における被災地の自律的な復興を支援するため、国の委託を受け、学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業を実施することにいたしました。本事業では、岩手県釜石市との防災教育や学力向上などを目的とした教職員の交流、宮城県気仙沼市と

の家庭教育や子育て支援などを目的とした職員の交流を予定しております。本市で取り組んでいる学校支援地域本部事業やふるさと・キャリア教育、家庭教育推進事業などのさまざまな教育事業は被災地のニーズに即した支援につながり、また、被災地との交流は大館の地域づくりにとっても貴重な機会になるものと考えております。

15、平成24年度成人式について。

去る8月15日、市民文化会館において、平成24年度成人式が対象者の78.1%に当たる593人の参加により盛大に行われました。新成人代表からは「成人という節目に行動を見つめ直し、周りに対する感謝の気持ちを忘れずに今後も過ごしていきたい。これまで育ててくれた家族、そして、地域の方々の期待に沿える人間になることを誓う」との力強い決意が述べられ、式典後には、恩師や級友との再会を喜び、近況を報告し合う姿が見られました。市議会議長を初め、御来賓の皆様にはお忙しい中を御出席いただき新成人を祝福してくださいましたことに、改めてお礼を申し上げます。

16、平成24年度国民体育大会東北ブロック大会兼第39回東北総合体育大会について。

昨年8月から準備を進めてきたミニ国体のソフトテニス及びバスケットボール競技が8月17日から19日まで高館テニスコート・樹海体育館を会場に開催され、成功裏に終了することができました。東北各県から訪れた選手・監督は約360人、来場者数は、ソフトテニス競技が2日間で1,300人、バスケットボール競技は3日間で3,230人となりました。本大会の成功は、競技関係者を初め高校生・審判員など多くの皆様の御支援・御協力によるものと深く感謝申し上げます。

17、公共事業の進捗状況について。

本年度の公共事業については、上半期で発注率85%以上を目標としており、おおむね達成できる見込みで推移しております。主な事業の進捗状況であります。5月に発注した東館・大葛地区の光ブロードバンド整備事業は進捗率が12%となっております。農業関連では比内地鶏鶏糞処理施設の敷地造成工事を8月に発注したところであり、10月中旬には施設建築工事を発注する予定であります。また、農業集落排水事業では餌釣及び山館地区で処理施設の機械設備更新等を行っており、進捗率は10%となっております。道路関連では、釈迦内松木立花線などの社会資本整備総合交付金事業と有浦二ツ屋区画2号線などの狭あい道路整備等促進事業がそれぞれ40%の進捗率となっております。教育関連では中央公民館のエレベーター設置工事を5月に発注し、進捗率は30%となっております。御成町南地区土地区画整理事業では前年度からの繰越分を含めて、進捗率は70%となっております。また、新たに312区画を増設する小柄沢墓園造成事業については8月に発注したところであり、水道事業では、観音堂地内の配水管布設工事が30%、御成町一丁目ほかの配水管布設替工事が平均で45%、中山取水場及び山館浄水場自家発電機設置工事が30%の進捗率となっており、11月には完成予定であります。下水道事業では、大館地域の有浦三丁目ほか、比内地域の味噌内地区、田代地域の茂屋地区におい

て本管理設工事を行っており、進捗率は平均で30%となっております。

続きまして、提出いたしました議案につきまして主な内容を御説明申し上げます。

報第17号は、専決処分の報告についてであります。

これは、本年7月8日に小柄沢墓園において、本市が設置した石碑の一部が崩れ児童が負傷した事故に伴う専決処分であります。この事故につきましては、相手方に誠意を示しながら解決に当たり、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきますので、御報告申し上げます。

議案第91号は、大館市立保育園設置条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館市立保育園4園の指定管理者制度移行に当たり、保育業務の特殊性を考慮し施設の安定運営と保育環境の維持を図るため、条例に定める指定期間を延長しようとするものであります。

議案第92号及び同第93号の2件は、公の施設に新たに指定管理者制度を導入することに伴う条例の改正案であります。

議案第92号は、大館市プルミエ比内に関する条例の一部を改正する条例案、**議案第93号**は、大館市軽食・直売コーナーに関する条例の一部を改正する条例案であります。

内容としましては、これらの施設に平成25年4月から指定管理者制度を導入するため、指定管理者が行う管理の基準、業務の範囲、指定期間等を条例に規定しようとするものであります。

議案第94号は、大館市火災予防条例の一部を改正する条例案であります。

これは、総務省令の一部改正に伴い、電気自動車用の急速充電設備が省令に定める対象火気設備等に追加されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第95号は、大館市小規模水道施設等の設置等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、本市の小規模水道施設に平成25年4月から指定管理者制度を導入するため、指定管理者が行う管理の基準、業務の範囲及び指定期間を条例に規定するとともに、一部条文の整備をしようとするものであります。

議案第96号は、字の区域の変更についてであります。

これは、国の国道7号陣場視距改良事業に伴い、事業区域内の無番地の土地に字を設定する必要があることから、当該土地を隣接する既存の字に編入することについて、議会の議決をお願いするものであります。

議案第97号は、秋田県後期高齢者医療広域連合規約の変更についてであります。

これは、住民基本台帳法の一部改正に伴う秋田県後期高齢者医療広域連合規約の変更について、連合を構成する関係市町村と協議するに当たり、地方自治法の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案第98号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、国道7号大館西道路改築工事の施行に伴い、市道路線の終点に変更が生じたことから当該路線を廃止しようとするものであります。

議案第99号は、市道路線の認定についてであります。

これは、都市計画法に基づく開発行為に伴い築造された道路など3路線について、市道に認定し管理しようとするものであります。

議案第100号は、平成24年度大館市一般会計補正予算（第3号）案であります。

今回の補正は7億3,879万4,000円の追加で、補正後の予算総額は314億7,364万2,000円となる見込みであります。最初に、歳出の補正の主な内容について申し上げますと、民生費に大館南が丘保育園増改築事業に係る保育所緊急整備事業費補助金1億1,835万9,000円を計上。衛生費にポリオ予防接種委託料1,588万4,000円を追加。土木費に除雪経費として4億290万1,000円を計上。災害復旧費に林業及び公共土木施設災害復旧費として3,036万7,000円を計上しております。なお、緊急雇用創出臨時対策基金事業としまして、地域農産品情報発信事業など8事業に3,103万5,000円を計上しております。

次に、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、国庫支出金に災害復旧費国庫負担金1,707万2,000円を追加。県支出金に保育所整備等特別対策事業費補助金1億520万8,000円を計上。財産収入に羽貫谷地工業団地土地売払収入など1,919万3,000円を計上。繰越金に3億4,793万1,000円を追加。市債に臨時財政対策債1億750万7,000円を追加したものであります。

議案第101号から同第106号までの6件は、平成24年度大館市の各特別会計における補正予算案であります。

議案第101号は、平成24年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は前年度事業の精算に伴うもので、歳入歳出とも3億7,013万円を追加し、補正後の予算総額は94億1,597万5,000円となる見込みであります。

議案第102号は、平成24年度大館市介護保険特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は前年度事業の精算に伴うもので、歳入歳出とも1億6,713万5,000円を追加し、補正後の予算総額は86億199万2,000円となる見込みであります。

議案第103号は、平成24年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は23万円の追加で、補正後の予算総額は2,896万5,000円となる見込みであります。

議案第104号は、平成24年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は56万5,000円の追加で、補正後の予算総額は389万9,000円となる見込みであります。

議案第105号は、平成24年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は695万1,000円の追加で、補正後の予算総額は5億673万9,000円となる見込みであります。

議案第106号は、平成24年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は811万7,000円の追加で、補正後の予算総額は2,092万3,000円となる見込みであります。

議案第107号は、平成24年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入では受託工事収益等に493万6,000円を追加し、補正後の総額は13億1,767万7,000円となる見込みであります。支出では、職員給与費等を479万1,000円減額し、修繕費及び工事請負費等に2,060万8,000円を追加するもので、補正後の総額は12億8,679万1,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり建設改良費に1,078万1,000円を追加し、補正後の総額は8億874万8,000円となる見込みであります。

議案第108号は、平成24年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正で職員給与費を201万3,000円減額し、補正後の総額は13億4,436万9,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債に50万円を追加し、補正後の総額は12億5,922万1,000円となる見込みであります。支出では職員給与費を3万8,000円減額し、補正後の総額は17億7,834万1,000円となる見込みであります。

議案第109号は、平成24年度大館市病院事業会計補正予算（第2号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、給与費を8,057万円減額し、経費等に2,041万7,000円を追加するもので、補正後の総額は109億8,034万2,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では企業債等に5,092万円を追加し、補正後の総額は9億2,563万7,000円となる見込みであります。支出では建設改良費に5,092万円を追加し、補正後の総額は12億2,143万3,000円となる見込みであります。

以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。（降壇）

○議長（藤原美佐保君） これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

○26番（笹島愛子君） 議長。26番。

○議長（藤原美佐保君） 26番。

○26番（笹島愛子君） 緊急雇用創出臨時基金事業について1点だけお聞きしたいと思いますけれども、特別教育支援員配置事業は、この緊急雇用事業が終わっても継続してやらなければならない事業だと思うのですけれども、今後の見通しについてだけお聞かせいただきたいと思っております。

○市長（小畑 元君） 委員会審議で細かな点は明らかにしていきたいと思っておりますけれども、いわゆる特別支援教育、これは一定程度人口にも膾炙いたしまして、皆様に御理解いただける

事業になってきたわけであります。問題は、この原資が3つに分かれておりまして、県の単独費用、国の費用と、3つに分かれているものですから、それで何とか工夫しながら、この特別支援員を配置するよう努めてきたわけであります。いずれも国・県・市、市の単独もありますけれども、こういった状況の中で、一つ一つ継続していくように要望していきながら、今後とも努力していきたいと考えております。

○議長（藤原美佐保君） ほかに御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これにて、質疑を終結いたします。

○議長（藤原美佐保君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、9月3日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時43分 散 会
